

名古屋大学特定基金

ご支援のお願い

文学 75 周年



創立75周年記念

文学部 研究基盤整備 支援事業



ご挨拶

名古屋大学文学部は1948（昭和23）年に設置され、今年2018（平成30）年で創立70周年を迎えます。また、1953（昭和28）年に設置された文学研究科は、1998（平成10）年に設置された国際言語文化研究科、1991（平成3）年に設置された国際開発研究科国際コミュニケーション専攻と統合され、2017（平成29）年に、人文学研究科として新しいスタートを切ることになりました。



この間、名古屋大学文学部は、東海地域の中核的総合大学における、わが国有数の人文学の教育研究拠点として、社会の各方面に多くの人材を送り出してきました。今後とも、人文学の一層の発展を目指して、教育研究活動の充実と高度化に邁進していく所存です。

とはいえ、皆様もご承知のように、国立大学の予算は年々切り詰められており、そのことが、人文系の教育・研究にも深刻な影響を及ぼしています。人文系の教育・研究にとって欠かせないのが図書・文献ですが、予算が厳しい中でも最低限必要な図書・文献を買い足してきた結果、文学部図書室は今や30万冊を超える蔵書を有しています。人文系の図書・文献は古いものにも価値があることから、古いからと言って捨てることはできず、蔵書数は増える一方ですが、それを収蔵し、利用に供するためのスペースは数十年間全く増えていません。そして、今後も、図書スペースの整備・拡充に予算が付く見込みはありません。そのため、このままでいくと、限られた収蔵スペースに図書・文献を詰め込むことになり、貴重な蔵書が埋もれてしまいかねません。これは、ただ単に宝の持ち腐れということにとどまらず、文学部・人文学研究科の教育・研究活動にとって危機的な状況と言えます。また、文学部は、真継家文書など貴重な史料も所蔵していますが、これらの資料を収蔵している貴重書室の設備が老朽化しているため、文書の保全と継承が危ぶまれる事態になっています。これは、我が国指折りの大学の一つとして大変恥ずかしい状況と言わざるを得ません。

残念ながら現状では、これらの問題を自力で解決することは困難なため、どうしても、皆様からのご支援を仰がざるを得ない状況です。そのため、こうした問題を解決の上、名古屋大学文学部・人文学研究科の一層の発展を可能にするために、「創立75周年記念文学部研究基盤整備支援事業」を立ち上げることといたしました。図書の問題は喫緊の課題であり、時がたてばたつほど解決が難しくなりますので、名古屋大学文学部にとって次の節目の年である創立75周年を目途に、皆様からご支援いただいた寄附金を活用して、図書スペースの整備・拡充に取り組み、75周年を迎える2023年には、皆様にお披露目したいと考えております。皆様方におかれましては、ぜひこの趣旨にご理解・ご賛同いただき、本支援事業への格別のご支援とご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

2018年10月吉日

名古屋大学文学部・人文学研究科長

佐久間 淳一

文学 75 周年



「名古屋大学基金」は、創基150周年を目指して更に充実すべく、卒業生、企業・団体、個人の皆様にご協力をお願いしておりますが、これはいただいた寄附金を基金として積立て、その運用益で各種の事業を展開するものであり、昨今の厳しい経済状況及び低金利の中、十分な運用益を上げることが厳しい状況となっております。

そのため、「名古屋大学基金」では、寄附金の運用益による事業とは別に、寄附金の一部を直接支出できる「特定基金」を設け、部局事業に活用することとなりました。

1 事業の内容

「特定基金:創立75周年記念文学部研究基盤整備支援事業」を指定していただいた寄附金は、その一部を名古屋大学基金として運営しますが、文学部・人文学研究科が行う特定基金事業の推進に活用させていただき、文学部・人文学研究科における研究基盤の一層の整備・拡充を図ります。

皆様方のご賛同と格別のお力添えを賜りますよう、心からお願い申し上げます。

■ 図書室及び図書の収蔵スペースの整備・拡充

創立75周年である2023年度を目途に、文学図書室の収蔵スペースを整備・拡充し、図書室の収容力を高め、文学部・人文学研究科における教育・研究にとって不可欠な図書を有効に活用することができるような環境を整えます。また、文学部が所蔵する貴重書を保全するための設備（空調等）の更新も行います。

■ 優秀な大学院生・若手研究者の顕彰

大学院生や若手研究者のうち、特に優秀な者を顕彰し、文学部・人文学研究科の研究力強化につながる人材を育成します。

2 基金の管理運営方法

大学院人文学研究科内に創立75周年記念文学部研究基盤整備支援事業運営委員会を設け、事業計画などを審議し、その決定に従って支出します。

3 ご協力をお願いしたい金額

1口 **10,000円** です。

基金目標額：50,000千円 基金募集期間：2018年10月～2023年9月

本基金の趣旨をご理解いただき、なにとぞ複数口のご協力をお願いいたします。

分割納付によるご寄附も可能です。複数年にわたる継続的なご寄附も承っております。



4 ご寄附の申し込み方法

■ 個人の皆様

ご寄附の方法は、以下の種類をご用意しております。いずれの場合も“特定基金：創立75周年記念文学部研究基盤整備支援事業”をご指定願います。

◇ 銀行・郵便局で振込用紙による方法

本パンフレットに同封の振込用紙をご使用ください。または、下記のお問い合わせ先までご連絡いただければ、振込用紙を送付させていただきます。

◇ クレジットカード、インターネットバンキング、ATM、コンビニによる方法

「名古屋大学基金」のHP (<http://www.nagoya-u.ac.jp/extra/kikin/>) からお申し込みください。

■ 法人・団体の皆様

名古屋大学Development Office (DO室) までご連絡ください。

5 寄附金に対する税法上の優遇措置

税法上の優遇措置があります。「名古屋大学基金」のHP (<http://www.nagoya-u.ac.jp/extra/kikin/>) をご覧ください。

6 ご寄附をいただいた方への特典

名古屋大学基金の特典 (<http://www.nagoya-u.ac.jp/extra/kikin/honoring/>) に加え、本特定基金にご寄附いただいた方には、感謝の意を込めて以下の特典をご用意しております。なお、寄附金を分割納入いただいた場合、あるいは複数回ご寄附いただいた場合は、寄附金の合計額で顕彰いたします。

寄附をいただいたすべての方々

記念品 (特製クリアファイル/特製絵葉書セット等) を贈呈します。

人文学研究科HPにご芳名及び寄附額等を掲載させていただきます (希望されない方は除きます)。

総額3万円 (3口) 以上の寄附をいただいた方々

記念品 (特製布製バッグ) を贈呈します。

総額5万円 (5口) 以上の寄附をいただいた方々

文学部創立70周年記念誌を贈呈します。

お問い合わせ先

〒464-8601 名古屋市中種区不老町

名古屋大学 Development Office (DO室)

TEL 052 (789) 4993

Eメール: kikin@adm.nagoya-u.ac.jp

名古屋大学文学部・人文学研究科 特定基金事務局

TEL 052 (789) 2202

Eメール: hum_sou@adm.nagoya-u.ac.jp